

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	81・48		
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 令和6年度の当初見込み80件に対し、申請件数は79件と、ほぼ同等の実績となった。 制度の内容そのものというよりも、事業の周知によるさらなる認知度の向上が課題であると認識されている。また、この事業を含め、出会い・結婚・出産・子育てといったライフステージ全体でトータルに支援を行い、市民に安心して住み続けたいと思ってもらえるような環境整備が大きく必要であるという見解が示された。 (予算規模について) この事業が新婚世帯の経済的負担の軽減に役立っていると考えられる。
--

■改善・提案内容

① それぞれのライフステージに沿った支援策を構築するために、何が支援策として求められているのかを、アンケートを取り毎年度ブラッシュアップしていく。
--

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	村木 勝也

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
現行の内容のままで良いと思います。

(予算規模について)
現行の単価で良いと思います。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特にありませんが、見込み件数をオーバーした場合、補正等の対応検討を事前に考えておく必要があると思います。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	大谷 学

事業No.	81	
事業名	結婚新生活支援事業	
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
申請者の評価が高く、新生活をスタートさせるときの経済的支援は必要。

(予算規模について) 事業の内容や規模は妥当と判断したため

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

沖田 真治

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
結婚新生活への経済的支援。アンケート結果からも「大いに役立った」「ある程度役立った」との意見が90%以上を占める好評な事業。U・Iターン者増加につながったかどうかを検証するためにも長期的な事業継続が必要である。

(予算規模について)
申請件数は目標を上回り予算額も傾向であることは良いことであるが、限られた財源を有効に使うため、更なる工夫が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

結婚新生活支援事業は結婚直後の住居費や引っ越し費用などに特化した政策。本市において、その後の出産、子育て、入園、入学、進学等のライフイベントへの支援が各それぞれになっている。結婚を始まりとして今後、予測されるライフイベントに対し支援を行っている。結婚を機に段階に応じ、行っている支援を示すことも必要ではないだろうか？評価を得て求められている事業を単体で終わらせずに「その後」の暮らしも見据えた包括的な支援の見せ方・つなぎ方の方法の一つとして、本市における結婚から子育て支援のパッケージ化、ナビゲーション化を図ることで安心して子育てができる町としてのアピールにもつながるのではないだろうか？

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
申請者のアンケートによると、結婚のきっかけの一つになったという回答が約半数あるということ。長期的な事業継続が必要と思う。

(予算規模について) 申請件数や満足度が高く実績も良好なため、現状の予算規模維持が適当と判断される。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
事結婚前に広く知ってもらうことが必要である。アンケート等で情報入手経路を詳細に把握し、効果的な周知方法の検討を行うことが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

新生活支援事業（国事業活用制度）については国の方針で増減する可能性があり、これについては国の動きを確認しながら進めるしかないが、浜田市独自の事業であり、工夫を重ねて当初目的である若者の定住促進及び少子化対策が進むよう、事業へ変化を持たせることが事業の継続と進展には必要と考え、改善を求めるが事業費は現状でおきたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 18日

議員名 柳楽 真智子

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
生活応援金は自由に使い、利用しやすいと考える。また、利用見込みに対してほぼ同数の活用がなされており、県事業との盾分けもされていることから現行のままで良いと判断した。

(予算規模について)
現行通りで進めることが妥当と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状維持で問題なし。

(予算規模について)

現状維持で問題なし。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

結婚新生活支援事業補助金について、29歳以下・30歳～39歳の上限をすべて60万に合わせても良いと感じる。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

小川 稔宏

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) この事業があることが結婚の契機になったとは考えにくい
が、結婚新生活に伴う経済的負担軽減の一助にはなっている。

(予算規模について) 財政にゆとりがないなかでは妥当な金額である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市独自の施策として評価できるが、若者が結婚を躊躇せざるを得ない原因である
低賃金や不安定雇用の改善や物価高騰対策については国レベル課題であり、で改
善を要望すべきである。

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	上野 茂

事業No.	81
事業名	結婚新生活支援事業
担当課	定住関係人口推進課 移住定住係 所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善	現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	☒ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 少子化が深刻な問題となる中、必要な事業であるこれまでの取り組みが先々まで定住につながるのか検証が必要

(予算規模について) 拡充する必要があると思う。

■改善・提案内容

住む場所、働く場の確保に介護、建設業など人材不足現場と連携した取り組みが必要では

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月 18 日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

特になし

(予算規模について) 特になし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一結婚・出産へつなぐ支援は少子化対策として重要。物価高に対し地域の所得水準が追いつかない中、結婚への後押しとなり、定住促進にもつながる。

（予算規模について）一利用者の満足度も概ね良好。今後の状況において見直しが必要だが現時点では現状維持が適当。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

芦谷 英夫

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
定住対策、少子化対策に対し評価していることから、さらに必要な拡充や見直しを行う。

(予算規模について)
事業拡大が求められる事項であり、事業実績や利用者の意見、市民ニーズなどを掌握し事業の構築を行う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- ①住宅支援として空き家バンクと連携し住宅提供のメニュー化を検討する。
- ②出産医療費、出産前医療費の支援。
- ③就学前教育保育費の支援の検討を行う。
- ④情報発信の工夫を行うとともに、市HPでの周知を拡充する。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 永見 利久

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
定住対策・少子化対策に取り組む施策である。申請者のアンケートによると9割以上の方が「とても役立った」、「ある程度役立った」との回答があるということは評価できる。

(予算規模について)
利用者の方、9割以上方が役立ったとの回答で、現状維持が適当である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 佐々木 豊治

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
応援金について、増額の検討も必要との答弁有り。

(予算規模について) 予算も増額

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

他事業との調整で

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月19 日
議員名	田畑 敬二

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

支援事業は国の動向で増減するので市独自の事業にして、予算構成を検討すべき

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

西田 清久

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
若い対象者の方々にとっては、アンケートにもあるように経済的不安の軽減に役立ったことは一定の評価が出来る。

(予算規模について)
事業内容に対しての事業費は、相当に思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

事業としての一定の評価はできるが、事業の目的の定住対策や少子化対策には根本的に違った要因があり、アイデアがさらに必要になる。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年7月18日
議員名 川神 裕司

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

定住化・少子化対策に対しては一定の効果があると認識している。

(予算規模について)

現状維持で問題ない

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 18日
議員名 牛尾 昭

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

予算規模に見合った応募があり、適当な事業である。

(予算規模について) 現行通り。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし。